

③ 保護者会での進路に関する講演会
や懇談会の開催

(9) 生徒理解のための諸調査

進路適性検査や生徒へのアンケートを実施し、生徒理解に努める。

また、保護者、教師へのアンケートを実施し、指導に役立てる。

六、おわりに

生徒一人一人が自己理解を深め、自分の希望する進路が実現できるよう学級指導を窓口として実践してきている。特に、自己理解を深めるため、教師は一人一人の個性を尊重し組織的、計画的に情報を提供するようにし、生徒も自ら情報収集の活動に努めるようになってきている。

調査活動では、教師だけでなく、生徒自身が高校に向いて、高校の先生の説明を聞いたり、調査で学んだことをもとに自分の進路選択をしたりしている生徒もでてきている。

また、研究を進めていく中で、生徒活動の場を工夫している中で、意欲的に活動する生徒の姿も多く見られるようになってきている。

なお、本年度も授業の充実にも努めるとともに、生徒が正しく自己を理解し、将来の夢や希望の実現のために努力する意欲を育てていきたい。

資料2 広報紙「進路だより」

「進路」だより

62. 8. 4
NO. 3
大信町立大信中学校

私の希望すること

・ 上京して、日本制度のまじしい訓練にたいして飛行機に乗りたい。
・ 英語がペラペラ。
・ 体力がある。
・ 視力1.0以上。

授業の中から

大
学

・ 英文科に入学
・ 英語がペラペラ
・ 大抵のこと件よくこなす
・ 英語検定は級合格
・ 身体は1.5cm以上ある

高
校

・ 普通科
・ 英語検定2級合格
・ 777活動に力を入れたい
・ 体力を鍛える

中学校

・ 夢について考える学習
・ 英語がペラペラ
・ 英語検定2級の勉強
・ 英語検定2級の勉強
・ 英語検定2級の勉強

中
学
校

・ 進路の希望
・ 進路の希望
・ 進路の希望

高
校

・ 英語検定2級
・ 英語検定2級
・ 英語検定2級

大
学

・ 英文科に入学
・ 英文科に入学
・ 英文科に入学

Aさん、Bさんの発表 (後)

進路の学習を本格化し、生徒の目力がかかるとは感じました。以上は、1年次(将来の希望の進路、進路の計画)、2年次(適性進路)、3年次(進路の選択、決定、将来への準備)と学習のステップの1コマである3年次の「進路の選択にたがえて」という題で学習(5月下旬)しました。

1時間の中で進路の計画を立て、実現の力かステップごとに必要のことと明確にし、自分の進路計画を立てる”ことができ、発表した。この2人分をのせてみました。

1年生・2年生のみなさんちも、自分の将来について真剣に考え、親とよく相談しあがり計画を立ててみよう。

◆先輩からの手紙◆ (私の進路)



「さよう……みなさん。こんにちは。私が卒業してからもう3ヶ月になろうとしています。私の学校では新入生大会に出席して良い成績をあげています。中間テストも終わりました。成績の結果が良かったです。さて進路のことになりますが、私がH校を選んだのは、父に勧められたことによるのです。私自身も進路を決まらなかったし、将来、希望している職業はつくには大学に進学しなくてはならないからです。1年生の時からは希望していたが、3年生の2学期ごろ実業科の授業が楽しかったので、最終的にはH校を選びました。

進路が決まるとき、まず、最初に来た職業と成績について親と話し合いをしました。将来の職業については、母に話さずには済まなかった。それでH校を選んだ。でも、問題は成績でした。テストの上がり下がりが激しく、水で入試のときも決して学力がのめりかたがなかった。

全体の学習時間が少なかったため、椅子に長く正しい姿勢で下がっている練習をしました。そして、朝早く起きて毎日4時間ぐらい学習する計画を立て実行しました。

今、小回りしてきて、将来のことや自分の進路のことや考えを学校で選ぶこと、計画を立てることが大切だと思います。

(なぜ、父がH校を選んだのか、将来の希望職業が何なのか、母に話さずには済まなかったのか、心なようすと書いてくれると助かりました。)

A 実業高等学校の体験入学 希望申込みのころ

6月3日(水)で標榜の件について締切りでしたが、参加希望者は総計で77名に達しました。

2年男子(4名) 女子(23名)
3年男子(11名) 女子(31名)

期日は未定ですが、8月3日～5日のどちらかにあります。学校・学科のこと、実習・実習の見学内容の内容について学習したり、先輩の話を聞いて、自分の将来の進路について考える。保護者の連絡も必ず行って生徒は決まっています。

- 13 -